

第2学年 国語科 学習指導案

令和3年10月14日（木）5校時

1. 単元名 どうぶつのひみつをしらべて「どうぶつのひみつずかん」をつくろう
「ビーバーの大工事」 東京書籍2年下

2. 単元目標

(1) 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識及び技能] (2) ア

(2) 動物について書かれた本や文章などを読んで、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。

[思考力、判断力、表現力等] C (1) ウ

(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

3. 単元で取り上げる言語活動

動物のひみつを見つけ、分かったことを絵や短い文にまとめて、「どうぶつのひみつずかん」を作る。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] C (2) ウ)

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで動物について書かれた本や文章を読んで、見つけたひみつを紹介しようとしている。

5. 実践の構想

(1) 教材について

本単元は、主に学習指導要領の〔思考力・表現力・判断力等〕の「C 読むこと」(1)ウ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと」を受けて設定した。知りたいことに関係のある大切な言葉や文に着目しながら、本や文章を読む力を身に付けさせることをねらっている。

本教材文は、ビーバーの巣作りについて、体の構造や機能と関連させて説明した文章である。ビーバーが「木を切り倒し川へ運ぶ」「ダムを作る」「巣を作る」工程が、擬声語や比喩表現、具体的な数値を効果的に使って、生き生きと順序よく説明されている。また、それぞれの工程に適した体の構造等が分かりやすく説明されており、ビーバーのひみつを見つけることに取り組みやすく、児童は感動し興味を持ちながら読み進める中で、作業手順に基づいて事柄の順序を理解するのに適した教材であると言える。

本単元では、「動物のひみつを見つけ、分かったことを絵や短い文にまとめて、『どうぶつのひみつずかん』を作る」という言語活動を設定した。まず教材文で書かれている内容の順序を確かめたり、大事な言葉や文に着目しながらひみつを見つけてまとめたりする。その後自分が知りたい動物について書かれた本から、「ひみつ」だと思ふ事柄（大事な言葉や文）を見つけて取り出し、「ひみつずかん」の1ページとしてまとめる。好奇心や知識欲を喚起する教材文の読解をきっかけにして、動物という興味を持ちやすい題材で図書館資料を活用する楽しさを感じながら、主体的に学習に取り組むことを期待したい。

(2) 児童について

【省略】

(3) 指導について

指導に当たっては、1次では動物のすばらしい能力や知恵などについて知っていることを交流させたり、1年生のときの「のりものずかん」を提示して、調べ学習を想起させたりして意欲を喚起し、「どうぶつのひみつをしらべて、どうぶつずかんをつくろう」という単元を貫く学習課題へとつなげる。全文を通読する前には「ビーバーの大工事」という題名について話し合う。「大工事」の言葉の持つイメージから、何かとても大変なことをするんだということを想像させてから読ませたい。その上で、そのような壮大な巣作りのために、実際のビーバーの行動の裏に、ビーバーの体の特徴や習性、知恵などのすばらしさが隠れていることを意識させながら読ませることで、「どうぶつのひみつをもっと知りたい」という意欲を喚起させたい。

2次の教材文の読み取りでは、説明（工程）の順序や主語・述語、擬態語、比喩表現、具体的な数値などに着目させたり、写真や図と照らし合わせたりして、ビーバーの行動の様子を具体的にイメージしながら読み取らせる。そして「特徴的な体の構造や機能、習性、知恵などについて、分かったことや驚いたことなど」を「ひみつ」として、工程ごとにカードにまとめさせる。初めのうちは全体で取り組んで、話し合いながら見つけるが、少しずつグループや個別の活動へと移行し、3次の一人一人の調べ学習へつながるようにする。

そうして集めたひみつカードの中から特に図鑑に載せたいひみつを選んで文に表し、「どうぶつのひみつずかん」のビーバーのページとしてまとめさせる。ひみつを選ぶときには、「ひみつオリンピック」というワークシート（思考ツール）を用いる。「自分が伝えたいと思うひみつ」と「友だちが伝えたらいいと思うひみつ」の2つの観点から捉えさせて、図鑑に載せるひみつを選ばせる。

3次では、各自が知りたい動物について見つけたひみつをまとめる活動を行う。あらかじめ学校司書に依頼して関連図書を集めてもらい、教室に「どうぶつブックコーナー」を設置して、動物についての本を手に取りやすい環境を整えておく。本や図鑑は、教材文の書き方と異なっているものがほとんどである。そこで、並行読書のときから「ひみつ」を見つけたら記入できるような読書カードを用意し、「ひみつ」を意識しながら読書できるようにする。調べる活動では、1年生の時の楽しかった印象を大切に、「本を使うといろいろなことが分かって便利だ、楽しい。」という気持ちを持たせたい。「ひみつ」を見つけれられたときには大いに称賛して、本でも知りたいことが見つけれられた喜びを感じさせたい。また、新たに複数の本から情報を得ること、目次や見出し、索引を使うこと、簡単な情報カードを利用すること等の情報活用リテラシーについても併せて指導する。

調べて分かったことを「ひみつ」として文章に表す際には、本に書かれている箇所を見直し、大事

な文や言葉（ひみつについて書かれている文や言葉）を書き抜いてまとめさせる。文章が曖昧になりやすい児童には、タブレットで本のページを撮影させ、画面上で伝えたいひみつが書いてある文に線を引く、ひみつに関係がある言葉を丸で囲むなどして明らかにさせたり、主語や述語を補うよう指導したりするなどの手立てをとりたい。

本時は、自分が見つけた複数の「ひみつ」のうちの伝えたいものを3つ以内で選ぶ活動を行う。どのようなひみつがふさわしいか理解させるために、指導者は不十分なひみつの例も多く提示して、児童の意欲を喚起したり、気づきやすくしたりする。なぜそのひみつが不十分だと思うのかを話し合う中で、「内容が正しい」「ほかの動物にはない」「あまり知られていない」「感心させられる」「驚かされる」ひみつなどがふさわしいことに気づかせたい。そして2次で用いた思考ツールを使用して、各自が見つけたひみつを整理したり、友だちの考えも聞いたりしながら、伝えたい情報を選べるようにする。思考ツールで視覚化させたり、ペア学習の形態をとり友だちと話し合わせたりすることで、自分の思いを大事にしながらか客観的な考えも加えて適切に判断できるようにするとともに、個別ではどれを選んだらいいか迷いやすい児童の支援の手立てとする。

(4) 学びを深めるための学校図書館（タブレット）活用

教材文での読み取りで育成を図った力を別の文章でも応用できるように、本や図書を利用して学習することで、知識及び技能や思考力・判断力・表現力等の定着へつながることを期待している。

6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	・「読むこと」において、文章中の重要な語や文を考えて選び出している。	・これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、進んで動物について書かれた本や文章を読んで、見つけたひみつを紹介しようとしている。

7. 単元計画（15時間・本時12／15）

次	時	学 習 活 動	評価規準	学校図書館活用
一	1	○学習の見通しを持つ。 ・動物の特徴的な体の構造や機能、すごいと思う特性などについて、知っていることを話し合う。 ・さまざまな動物について調べ、「どうぶつずかん」を作るという学習課題を確認し、学習の計画を立てる。		○

二	2	<p>○教材文を読み、ビーバーの行動を順序に沿ってまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーの行動についての文に線を引ながら確かめる。 ・「木を切り倒し川へ運ぶ」「ダムを作る」「巣を作る」3つの工程にまとめ、それぞれの工程ごとにひみつを見つけていくことを確かめる。 	<p>[知識・技能] ノート ひみつカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーの行動の順序について理解しているかの確認。 	
	3	<p>○教材文を読み、ビーバーが木を切り倒す様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくりと関連付けて、木を切り倒すビーバーの様子を読み取る。 ・分かったことや驚いたことなどをまとめ、ひみつカードに記入する。 		
	4	<p>○教材文を読み、ビーバーが木を川へ運ぶ様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくりと関連付けて、木を川へ運ぶビーバーの様子を読み取る。 ・分かったことや驚いたことなどをまとめ、ひみつカードに記入する。 	<p>3～6時 [思考・判断・表現] ひみつカード</p>	
	5	<p>○教材文を読み、ビーバーがダムを作る様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の特徴と関連付ける等して、ダムを作る様子を読み取る。 ・分かったことや驚いたことなどをまとめ、ひみつカードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文や、本の中からひみつについて書かれている文や言葉を選んでいるかの確認。 	
	6	<p>○教材文を読み、ビーバーが作る巣の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーバーがダムを作る目的や知恵と関連付けて巣を作る様子を読み取る。 ・分かったことや驚いたことなどをまとめ、ひみつカードに記入する。 		
	7・8	<p>○ビーバーのひみつをまとめて、どうぶつずかんに表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみつカードを読み返したり、思考ツールを使って並び替えたりする。 ・特に伝えたいひみつを思考ツールを使って選び、どうぶつずかんに書く。 		
三	9	<p>○どんな動物について調べたいか考え、調べる方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみつを調べたい動物について、思考ツールを使って考える。 ・知りたいことの調べ方やまとめ方を確かめる。 	<p>[主体的に学習に取り</p>	○

	10 ・ 1 1	○調べるための本を選び、大事な言葉や文を探しながら読む。 ・調べるための本を探して、読む本を選ぶ。 ・知りたいことに関係のある大事な言葉に気をつけながら読み、見つけたひみつをカードに書き出す。	む態度] 行動観察 ひみつカード ・進んでひみつを見つれたり、紹介したりしようとしているかの確認。	○
	1 2 (本時)	○調べたことをどうぶつずかんにまとめる。 ・伝えたいひみつを思考ツールを使って選ぶ。		○
	1 3	○調べたことをどうぶつずかんにまとめる。 ・選んだひみつを文に書き、どうぶつずかんのページをつくる。		○
	1 4	○どうぶつずかんを見合いながら、調べたことを伝え合う。 ・グループで紹介し合う。 ・ひみつをまとめた感想や友達が見つけたひみつについての感想を話し合う。		○
四	1 5	○単元の学習を振り返る。 ・知りたいことを調べるために、どんなことに気をつけて読んだかを確認、学習を振り返る。	[主体的に学習に取りむ態度] 振り返りの記述 ・進んでひみつを見つれたり、紹介したりしようとしていたかの確認。	

8. 本時の学習

(1) めあて

- ・動物の体の特徴や習性、知恵などについて読み取ったことの中から、伝えたいことを思考ツールを使って、観点に沿って選ぶことができる。

(2) 展開

学習活動	・教師の支援 ☆評価
1. 本時のめあてを知る。	・これまでの学習を振り返り、いよいよずかんのページを作るという期待感を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 友だちにつたえたいどうぶつのひみつをえらんで、「どうぶつのひみつずかん」にかこう。 </div>	
2. 例示されたひみつカードを見て、どういうひみつがよいのか、話し合う。 ・面白いひみつもあるけど、そうじゃないものもある。 ・全部を載せるのじゃなくて、選んだほうがいい。 ・このひみつは、他の動物にもあてはまるから、選ばなくてもいい。 ・前使った、ひみつオリンピック (ワークシート)	・いろいろなひみつカードを例示して話し合わせる中で、どのようなひみつがふさわしいものであるか観点を考えさせたり、第7時で用いたワークシートを用いるとよいこと等に気づかせたりする。 「内容が正しいもの」「ほかの動物にはいいもの」「あまり知られていないもの」「感心させられるもの」「驚かされるもの」等

を使うといいんじゃないかな。

- ・先生は、その順番でひみつを選んだのか。
- ・先生が2つ目に選んだひみつは、他の動物にも当てはまるよ。
- ・このひみつは、すごいひみつだから、ぼくだったらこの順番にするよ。

3. 自分が調べたひみつを、ワークシートを使って整理する。

- ・このひみつは、すごいひみつだから、一番左側に置こう。
- ・このひみつは、みんな知っているかも知れないな。
- ・このひみつと、このひみつは関係があるからくっつけよう。
- ・ひみつが少ないな。もう少し別のことを探したいな。

4. ペアの友だちが選んだひみつについて考え合い、伝えたいひみつを3つ以内で選ぶ。

- ・左から読んでいくよ。
- ・このひみつは、すごくびっくりしたからこっちに置いたんだよ。
 - ・このひみつは、すごくおもしろいね。
- ・ぼくだったら、こっちのひみつの方が知りたいから、この順番がいいと思うよ。
- ・このひみつは、このどうぶつだけのものだから、これを伝えたらいいと思うよ。
 - ・友だちはこっちがいいと言ったけど、ぼくはやっぱりこっちを伝えたいから、1位はこれで、2位はこれで、3位はこれにしよう。

5. 振り返りをする。

- ・むずかしかったけど、ひみつを選ぶことができたからよかった。
- ・友だちが相談に乗ってくれたから、いいひみつを選ぶことができた。
- ・次は、がんばって文に書こう。できあがりを楽しみだな。

- ・ワークシート用いて、話し合いの中で、まず指導者が伝えたい順に左からひみつを並べる。その後子どもたちが伝えたらいいと思う順番について意見を出させながら、ワークシートの「使い方」を確認したり、観点に沿ってひみつを選ぶことを押さえたりする。
- ・伝えたいという思いだけでなく、観点に沿って選ぶことが大切であることを押さえる。

・整理しにくい児童には、担任や学校司書と一緒に考えるなどする。

・伝えたい情報が少ない場合には、後で見つけ直してもいいことを伝える。

・書いた内容が友だちに伝わりやすいよう、並べた順に、ペアの友だちに読み上げたり、なぜその順番にしたのか説明したりするよう指示する。

・ペアの友だちは、自分だったらどの順で知りたいかだけでなく、観点なども確認して、アドバイスするとよいことを伝える。

・友だちの考えも参考にしながら、1, 2, 3位を選んでワークシートの上部に配置させた後、なぜそれを選んだのかも、書き記させて観点に沿っているかを、確かめられるようにする。

・友だちの考えと自分の思いが異なって迷う場合には、自分の思いを優先させるといいことを伝える。

☆動物の体の特徴や習性、知恵などについて読み取ったことの中から、伝えたいことを観点に沿って選んでいる。

・次時には、ひみつを文に表すことを伝え、期待感を持たせる。

(3) 本時の評価基準

十分満足と判断できる 子どもの具体例	おおむね満足と判断できる 子どもの具体例	努力を要すると判断できる 子どもへの支援
・思考ツールにひみつカードを適切に配置し、観点到に沿ってひみつを選んだり、友だちに考えを伝えたりしている。	・思考ツールにひみつカードを適切に配置し、観点到に沿ってひみつを選んでいる。	・教師と相談しながら、思考ツールにひみつカードを配置し、そこから選ぶよう促す。

(4) 研究の視点

本単元で本や図書を利用して学習したことは、知識及び技能や思考力・判断力・表現力等の定着を図るのに有効であったか。

9. 研究協議の概要

参加者	校内 10名、校外 6名 計 16名
授業及び 研究協議 の概要	<p>〈授業について〉</p> <p>本時までに調べたい動物を決め、図鑑や図書から見つけてひみつを付箋（ひみつカード）に書き出していった。ひみつを見つける際には、教科書「ビーバーの大工事」で学習したひみつの観点（体の特徴、習性、知恵）をもとに調べていった。</p> <p>本時では、事前に調べて用意したひみつカードから、図鑑に載せるにふさわしいひみつを選択する観点到に沿ってペアで話し合い、3つに絞り紹介し合った。</p> <p>〈協議について〉</p> <p>協議では主に、情報の収集の仕方、情報の取捨選択の仕方について話し合い、以下のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行読書の段階から動物のひみつやおもしろさを意識させていたため、児童が選ぶための視点をもって学習に取り組むことができていた。並行読書も、ただ読ませるだけでなく、ねらいをもってねらいに沿うような工夫をすることも大切である。 ・図鑑に載せたい情報を選ぶ際に、分からない言葉や内容があるたびに、本に立ち返り、確かめる児童が複数いた。自分が選びだした情報の正しさを確かめるため、本に返ることで思考力、判断力を高めることにつながる。 ・見つけたひみつを付箋に書くことで、集めた情報を分類する際に実際に動かしながら作業ができるため付箋はツールとして有効だった。 ・図鑑に載せる情報を選ぶための観点到を明確にし、さらにペアで確認しながら選択をしていくことで、より重要性の高い付箋を選択することができていた。